

ごみ袋値下げニュース

2016年10月6日発行 第1号

- ・ごみ袋の値下げを求める市民の会
代表 中村しま 京都市伏見区小栗栖中山田町 12-101
- ・ごみ袋の値下げを求める市民の会@さかの
世話人 大西育子 京都市右京区嵯峨野清水町 4
電話：090-5974-4710
ホームページ
http://www.geocities.jp/gomibukuro_kyoto/

京都市の家庭ごみ袋代の値下げを求める請願署名を集めています

- ☆ ごみの収集・処分は地方自治体の最も基本的な仕事で、税金でまかなわれるべきであり、市民がごみを出すのに費用負担しなければならないのは「税金の二重取り」ではないのか。
- ☆ 近隣の他市に比べて異常に高い。(450 袋 1 枚が京都市 45 円、大津市 13 円、豊中市 8 円)
- ☆ 販売収入年間約 19 億円、製造経費等約 7 億円、すなわち利益は約 12 億円！！
- ☆ この 12 億円は、直接ごみの収集・処分に当てられるのではなく、資源ごみやてんぷら油の拠点回収への助成や防鳥用ネット貸出に使われていますが、商店街の街路灯の設置や一般住宅の太陽光発電等の設置への助成など、ごみの処分や減量とは関係のないものにまで使われています。
- ☆ それでも余るのでこれまで毎年 3~4 億円貯め込まれてきました。
- ☆ 貯め込み金から 2.5 億円を使い、南部クリーンセンターに展望台が作られようとしています。
- ☆ 年金は下がり、賃金は物価の上昇に追いつかず、市民の暮らしは苦しくなるばかりで、食費も切り詰めて暮らしている中、展望台よりも、ごみ袋代の値下げを求めます。



＝ご協力のお願＝

- ・署名を集めてください
ホームページから、署名用紙をダウンロードできます
- ・ごみ袋代について考える学習会を開いてください。講師紹介します。
また、学習会にご参加ください。
- ・このニュースを周りの人に勧めてください